

施設一体型小中一貫教育校施設整備の基本的な考え方
(小中一貫教育の推進に対応した学校施設整備について)

基本方針

①義務教育9年間の一貫した教育課程（活動）を支える環境

- 教科担任制や相互乗り入れ授業等に対応する。
- 児童生徒の発達段階や学習内容に応じたゾーニングに配慮する。
- 共同（合同）授業などによる異学年交流、学校間交流に対応する。
- 特色ある教育課程（地域学など）の展開に対応する。
- 特別支援教育の充実に対応する。
- ICT機器の活用に対応する。

②義務教育9年間の一貫した学校運営を支える環境

- 小・中学校教職員の共通認識と指導の連携・協働に対応する。
- 教職員の指導力の向上を支える。
- 一体的マネジメントを可能とする。

③保護者や地域と一体となって子供たちの学びを支える環境

- 学校運営協議会や地域学校協働活動などの子供の学習を支える活動に対応する。
- 地域住民と子供たちの郷土愛を育む交流を支える活動に対応する。

④将来変化に柔軟に対応し、高機能で多様な学習を支える環境

- 将来の児童生徒の増減に対応できる。
- 新しい学習内容や学習形態に対応できる。
- 日々進化するICT機器の活用など、高機能で多機能な学習環境に対応できる。

⑤安全安心で、子供たちの豊かな学校生活を支える環境

- 児童生徒の発達段階や利用内容に応じて安全に利用できる。
- インクルーシブ教育に配慮するとともに、すべての人が利用しやすいバリアフリーやユニバーサルデザインを導入する。
- 災害や事件等の緊急時に安全が確保できる。
- 不登校等の教育課題に対応し、個別に寄り添い安心して生活できる。
- スクールバスの導入に際して、利用時の安全性が確保できる。

⑥既存施設の有効活用と新設施設が調和した環境

- 既存施設の課題を把握し、効果的に小中一貫教育が推進できる施設に転換する。
- 既存施設の機能を把握し、必要な施設の設備を整備し、既存施設と新設施設の一体化と調和を図る。

一体型小中一貫教育校 金浦地区 コンセプト

つながる学び ひろがる未来 夢を育む小中一貫教育

1. 多様な学びに対応する学習環境づくり（①、④、⑥）

- 可動式壁を有する余裕のある普通教室
- 授業スタイルに応じて自由にレイアウトできる机・イス
- 多様な授業スタイルに対応できる教室横のオープンスペース
- つながる学びを促進する教科教室（外国語、数学）
- 小中の児童生徒が書籍に親しみ、ゆったりとした温もりのある図書スペースと、ICT機器を活用して情報収集するスペースと一体化したメディアセンター
- 交流と学習がのびのびできる2つの体育館
- 異学年交流を支える交流スペース
- どこでも、タブレットが使える電源や通信環境の確保

2. インクルーシブ教育を推進し、1人ひとりに居場所のある学校づくり（①、④、⑤）

- 特別な支援に対応できる別室の設置（2、3人がで学習できる相談室）
- 教室内ですぐにクールダウンできる空間、就学前教育から円滑に接続できる1年生の導入期エリア～余裕のある普通教室
- 9年間をつなぐ通級指導教室の設置
- プライバシーが守られるカウンセリング室

3. 地域・家庭とともに子どもたちの学びを見守る学校づくり（③）

- 2学年以上や地域・保護者の方々が集える、あたたかくゆったりとした交流スペース
- 地域・保護者の方々が集い、子どもたちを見守ることのできる部屋
- 金浦・城見・陶山地域の伝統や歴史を学んだり、地域学での成果物を掲示したりする展示室
- 木漏れ日が差すあたたかな広場やベンチ、地域の方と育てる花壇や菜園

4. 安全・安心な学校づくり（⑤）

- かさ上げによる浸水対策
- 歩行者、自転車通学、スクールバスの動線の分離
- バスステーションの確保
- 多目的トイレ、エレベータの設置
- 段差のないスムーズな移動を支えるバリアフリー化
- 災害時安全に一時避難・集合できる多目的ホール
- 体格差に配慮した小中の運動スペース、遊具を備えた低学年野外プレイスペース

5. 施設一体型のメリットを発揮した学校づくり（②、⑥）

- 一体型マネジメントを図る小中合同職員室、教職員がミーティングできるスペース
- 既存校舎と新校舎をつなぐ導線を確保
- 小中の特別教室の共有による効率化
- 教科室の隣にある準備室で気軽にミーティング
- 成長段階に合わせた保健室、効率化を図る合同事務室
- 小中の接続期に配慮した教室配置

1. 多様な学びに対応する学習環境づくり



○多様な授業スタイルに対応できる
教室横のオープンスペース



○異学年交流を支える交流スペース



○ゆったりとした温もりのある
図書スペース



○つながる学びを促進する
教科教室（外国語）

2. インクルーシブ教育を推進し、1人ひとりに居場所のある学校づくり



○特別な支援に対応できる別室の設置
（2，3人がで学習できる相談室）



○教室内ですぐにクールダウンできる空間

3. 地域・家庭とともに子どもたちの学びを見守る学校づくり



○地域・保護者の方々が集い、
子どもたちを見守ることのできる部屋



○金浦・城見・陶山地域の伝統や歴史を
学んだり、地域学での成果物を掲示したり
する展示室

4. 安全・安心な学校づくり



○多目的トイレの設置



○体格差に配慮した小中の運動スペース、
遊具を備えた低学年野外プレイスペース

5. 施設一体型のメリットを発揮した学校づくり



○教職員がミーティングできるスペース



○既存校舎と新校舎をつなぐ導線を確保